

普及活動情勢報告（令和元年9月分）

中央西農業振興センター高吾農業改良普及所

露地ニラの月例会を行いました



意見交換を行う生産者

9月13日、JAコスモスニラ生産部の露地ニラ月例会と現地検討会が行われました。

普及所は、月例会では生産者10名を対象に今後の栽培管理として病害防除について指導を行い、また、現地検討会では篤農家圃場で生育状況と栽培管理を確認しました。

生産者からは、肥培管理や薬剤防除、そぐり作業について質問があり、活発な意見交換が行われました。

今後も普及所では、管内ニラ生産者の栽培管理技術向上を目指し、生産者同士の交流と学びを支援します。

はちきん農業大学 第3回高吾地区講座を開催しました



刈払機の刃の交換作業体験

8月30日、高吾農業改良普及所で3回目のはちきん農業大学「農業機械講座」を開催し、7名が出席しました。

作業事故の事例をもとに安全に作業する際の服装や、刈り方などの安全講習の講義後、各自が持参した刈払機の刃の交換作業の実習と、ほ場での草刈りを体験しました。

肩掛けバンドは1名しか付けておらず「安全ためには、肩掛けバンドをつけること」や、「今まで往復刈りをしていたが、危険なことがわかった」との感想が聞かれ、安全意識が高まりました。

普及所は、今後も女性農業者の栽培技術や経営管理能力の向上に向けて計画的に講座を開催します。

夏秋トマトの天敵利用勉強会を開催しました。



天敵利用の講習会

9月6日、仁淀川町役場で夏秋トマトの天敵利用勉強会を開催し、研究会の7名が出席しました。普及所は今年为天敵利用状況を確認し、メンバー間で成功・失敗体験を共有しました。参加者からは「農薬散布の身体的負担が軽減できた」といった声がある一方で、「費用がかかる」との課題が出されました。また、天敵の使い方に関する講習や、天敵を利用する際の注意点について質疑を行いました。

今後は費用負担軽減のため、タバコカスミカメの温存ハウスを検討するなど天敵を活用したIPMの普及を推進していきます。

高糖度トマト現地検討会の開催



葉露の状態はどうかの

9月10日、JA高知県仁淀川地区トマト生産部の高糖度トマト現地検討会が日高村本郷で、早朝6時30分から開催され、生産者10名が集まりました。

定植後1ヶ月の灌水管理が糖度の乗り方に影響を及ぼすため、早朝に葉露の状態と芯葉の色による土壌中の保水性を確認しました。普及所は、生育診断に基づいた灌水管理や施肥管理について指導を行い、参加者からは診断に関し、活発な意見交換が行われました。

今後も普及所では、生育ステージに応じた現地指導を実施しながら高糖度トマトの安定生産の向上につなげていきます。